

事務事業チェックシート

事務事業No 事業名
360 栄養・食育事業（食生活や栄養に関する指導や講習会の開催）

[事業基本情報]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	2	健康づくりの推進
基本方針	1	市民の健康づくりへの支援

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		地域保健費	
	大事業		地域保健事業	
	事項		栄養・食育事業	

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	永年	～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画	健康わかやま21（第2次）、和歌山市食育推進計画		
担当課・担当課長（Tel）	地域保健課	川口 隆弘(488-5119)	
関連課	農林水産課、保健給食管理課、保育所管理課		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か）	事業内容
	<p>市民の食生活を改善するための事業。 【小目的】 市民の食や健康に対する意識が向上し、望ましい食生活を身に付けること。 【中目的】 生活習慣病予防、健康の保持増進。 【大目的】 市民の生活の質（QOL）の向上。</p>	<p>★各講習会の開催…講義や調理実習、エプロンシアター等による食生活改善及び栄養知識の普及。保健センターで開催する場合は、市報わかやまで募集を行うが、要請に応じて、各保育所やコミセン等で行う場合もある。 ★「自分の健康は自分の手で」を基本に活動する地区リーダー（食生活改善推進員）の養成。 ※食生活改善推進員とは、保健栄養学級を終了した者で、地域における食生活改善における実践活動を担っている。</p>

実施内容	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	<p>【各講習会の開催】 栄養教室 24回374人 離乳食講習会 16回295人 【食育の健康教育】 おやこの食育教室 6回123人 その他食育 10回236人 保育所小学校訪問26回1631人 【食推の質の向上】 保健栄養学級 32回410人 食推ヘルスマイト習会 8回170人 男性料理教室 6回126人 よい食生活をすすめるための講習会 2回39人 糖尿病予防教室 1回18人</p>	<p>【各講習会の開催】 栄養教室 23回351人 離乳食講習会 16回295人 【食育の健康教育】 おやこの食育教室 6回142人 その他食育 8回 186人 保育所小学校訪問26回1456人 【食推の質の向上】 保健栄養学級 32回393人 食推ヘルスマイト習会10回160人 男性料理教室 6回118人 生涯骨太クッキング 2回28人 糖尿病予防教室 1回25人 TUNAGU教室 2回56人</p>			

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	361	338	631	605	626		626		626		
	伸び率（%）	-	-	74.8%		-0.8%		0.0%		0.0%		
	人件費	常勤職員		12,254	12,254	10,846	10,846		10,846		10,846	
		非常勤職員		830	830	1,072	1,072		1,072		1,072	
		小計		13,084	13,084	11,918	11,918		11,918		11,918	
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
その他			224	180	224		224		224			
一般財源（税等）	361	338	407	425	402		402		402			
所要人数	常勤職員		1.61	1.61	1.46	1.46		1.46		1.46		
	非常勤職員		0.39	0.39	0.55	0.55		0.55		0.55		
主な予算内訳		報償金90千円、管外出張旅費105千円、消耗品費423千円、各種会議負担金8千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	各講習会の開催回数	年度目標値			40	39				
		実績値			40	39				
	単位	回	全体目標値	全体目標達成度	100.0%	100.0%				
	食育の健康教育の開催回数	年度目標値								
		実績値			91	93				
	単位	回	全体目標値	全体目標達成度						
	成果指標	望ましい食生活を身に付けた市民の数＝講習会参加者数				年度目標値	860	840		
						実績値	669	646		
		単位	人	全体目標値	全体目標達成度	77.8%	76.9%			
食育の健康教育の受講者数		年度目標値			2,700	2,700				
	実績値			2,753	2,630					
単位	人	全体目標値	全体目標達成度	102.0%	97.4%					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	食生活は、市民の健康を維持増進する上でとても重要な役割を担っている。食生活の改善を目的とする当事業のニーズは高いため、縮小はせず現状維持とした。
「見直し」 「改善」案	離乳食講習会の開催時間を少し遅めにした。試食の準備時間が増えたので、逆に準備の人員を減らせないか、現在、教室を実施しながら検討中。